

全国優良団体表彰

町体育指導委員会



11月10日、東京体育館に於いて第52回全国スポーツ推進委員研究協議会が開催され、委員研究協議会が開催され、(社)全国体育指導委員連合の優良団体として、白鷹町体育指導委員会(古瀬敏弘会長以下18名)が表彰されました。同委員会は昭和37年に設立され、今年で50年目。地域のスポーツ振興に加え、住民の健康、体力の向上や維持に貢献したとして、今回の受賞となりました。

スポーツ基本法の施行により、来年4月からは「白鷹町スポーツ推進委員会」と名称も新たに、スポーツを通じた地域のコーディネーター役として、更なる活躍が期待されます。

平成23年度優良公民館 文部科学大臣表彰

十王地区公民館

このたび、十王地区公民館が平成23年度優良公民館として文部科学大臣表彰を受賞しました。

この賞は、事業内容・方法などに工夫をこらし、地域住民の学習活動に大きく貢献している公民館を表彰するもので、十王地区公民館は季節ごとの「まつり」を通じた世代間交流や青年層の地域参加活動の広がりなどが評価されたものです。

今後ますますの公民館活動の充実と振興、地域活性化につながっていくことに期待します。

高谷十王地区公民館長



成績優秀者激励金を交付



○岩澤芽衣さん(山口)

鮎貝小学校5年

岩澤さんはお姉さんの影響もあって、小さなころから剣道に取り組み、現在は朝日町・大谷剣道スポーツ少年団に所属して週4日の練習を行っています。

県予選を勝ち抜き、9月18日に大阪市舞州アリーナで行われた第6回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会に出場しました。惜しくもチームの決勝トーナメント進出はなりませんでしたが、岩澤さんはチームの次峰として出場し「コテ」2本を奪ったの勝利を収めるなど活躍しました。

得意技の「メン」に磨きをかけ、今後一層の活躍に期待したいと思います。

輝けやまがた若者大賞受賞

文化継承団体「獅伝」

11月10日、県庁で『輝けやまがた若者大賞』授賞式が行われ、吉村知事から「獅伝」(古名順二代表)に賞状が手渡されました。

この賞は、地域活性化に取り組む若者に対して贈られるもので、今年県が初めて創出したものです。

獅伝は10代から30代の若いメンバーで組織した団体で、これまで福祉施設の慰問や町内外のイベントなどで獅子舞を披露したり、時にはスタッフとしてさまざまな場面で活躍しています。

現在は小中高校生もメンバーに加わり、幅広い世代で活



授賞式：古名代表(中央)と横澤副代表(手前右)



町長へ受賞の報告(左：後藤副代表)

動かれています。これらの活動が評価され、今回の受賞となりました。

激励金交付



12月6日、獅伝の古名代表と後藤副代表が役場を訪れ、町長から激励金が手渡されました。

激励金は、12月11日に獅伝が参加する(社)全日本郷土芸能協会主催の『全国獅子舞フェスティバル』での活躍を期待して贈られたものです。

古名代表は「白鷹の文化を全国のかたに紹介してきます」と話していました。